

**令和6年度第1回 公立沖縄北部医療センター整備協議会幹事会
議事要旨**

I 日 時 令和6年6月28日(金) 15:00～16:30

II 会議場所 沖縄県北部合同庁舎2階大会議室

III 参加者

幹事長 沖縄県保健医療介護部 糸数部長(欠席)

沖縄県保健医療介護部 喜舎場医療介護統括監(幹事長代理)

幹 事 名護市 金城副市長、 国頭村 宮城副村長

大宜味村 宮城副村長、 東村 又吉副村長

今帰仁村 比嘉副村長、 本部町 上原副町長、

恩納村 山城副村長、 宜野座村 野辺健康福祉課参事(代理)

金武町 (欠席)、 伊江村 内間副村長、

伊平屋村 金城副村長、 伊是名村 高良副村長、

北部地区医師会 宮里副会長、沖縄県病院事業局 宮城病院事業統括監

琉球大学病院 平田副病院長

北部地区医師会病院 諸喜田病院長、県立北部病院 久貝院長

事務局 保健医療介護部医療政策課

大仲室長、小波津主幹、比嘉主査、上江洲主査

沖縄県北部医療組合

下地事務局長、池原総務課長、島田主査、仲宗根主任技師、瀬長主任

IV 議事概要

1 協議事項

(1) 財団法人の評議員及び理事等の選任方法について

○ 資料1に沿って事務局より説明し、幹事から次のとおり意見等があった。

ア 評議員、理事それぞれの選任について市町村における役職(職級)を確認していく必要がある。

イ 財団法人は病院運営を担うための人材確保が重要。理事長、専務理事が常勤で核となって医療従事者確保に取り組むと認識している。事務局体制も気になっているが、医療従事者リクルートのコンサルタント活用なども含めて頑張っていたきたい。

○ 財団法人の評議員及び理事等の選任方法について、事務局案のとおり了承された。

2 報告事項

(1) 国への要請について

- 資料2に沿って事務局より説明し、要請活動に参加した幹事から次のとおり報告があった。
 - ア 要請時に対応した内閣府の沖縄振興局長から最大限努力するとの言葉を頂いた。また、厚生労働副大臣から当案件は北部地域の医療提供体制に重大な影響があり、成功させる必要があるとの言葉をいただいた。
- また、幹事から次のとおり意見等があった。
 - ア 内閣府の沖縄振興局長のコメントに「沖縄振興特別措置法でも北部地域の振興が位置付けられており」と記載されているが、新病院を作るということは、北部振興に該当するものか。病院は一つの産業であると考えている。そういった意味では北部振興として位置づけられていればいいことだなと思う。
- (2) 実施設計の進捗について
 - 資料3に沿って事務局より説明し、幹事からは特に意見等なし。
- (3) 実施設計（中間報告）を踏まえた概算整備費と収支見通しについて
 - 資料4に沿って事務局より説明し、幹事から次のとおり意見等があった。
 - ア 実施設計の中間とあるが、これから設計を終えるまでにさらに膨らむと考えられる。今後のこの要請の仕方も考えないといけないと思う。
 - イ エネルギーサービス事業(E S事業)について、イニシャルコストに関する整備費の42億円の減少とランニングコストの年間6,000万円の計上に関する費用対効果を検討して行く必要がある。
 - ウ 物価高騰は外部要因によるものであるが、これらを考慮した財源確保は出来ないのか。
 - エ 現在の県立北部病院の資産は、北部地域の住民のために整備された機器だと理解しているので、できるだけ新病院に引き継いで欲しい。協議会からも関係機関への調整などを今後進めてほしい。
- (4) 心身障害児（者）の歯科診療に関する要望について
 - 資料5に沿って幹事から説明があり、次のとおり意見等があった。
 - ア 新病院でも対応しないといけないのではと考える。

【配布資料】

- 資料1 財団法人の評議員及び理事等の選任方法等について
- 資料2 国への要請について
- 資料3 実施設計の進捗について
- 資料4 実施設計（中間報告）を踏まえた概算整備と収支見通しについて

資料5 心身障害児（者）の歯科治療に関する要望について

参 考 令和6年度スケジュール